

2006年度中間決算・2006年度業績予想について

星光PMC株式会社
コード番号4963

目次

1. 事業概要について
2. 当社の経営戦略
3. 当中間期の事業環境について
4. 当中間期の連結業績
5. 財務諸表
6. 06年度業績予想
7. 中国での事業展開について

< 予想に関する注意事項 >

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

1. 事業概要

● 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品

紙 新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙
紙器用紙 他



● 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂

平版インキ
グラビアインキ
新聞インキ
フレキソインキ
トナー



2. 当社の経営戦略

(1) 製紙用薬品事業

製紙業界の経営戦略 = 高品質化、生産性の向上に寄与する薬品システムの提供

- ・板紙の抄紙pHを酸性からアルカリに転換し、リサイクル古紙の安定的な使用に貢献する薬品システム
 - ・板紙の生産性を飛躍的に向上させ、排水削減等環境問題の解決に貢献する薬品システム
- ・新聞紙の高品質化を推進する薬品システム
 - ・新聞紙の白色度および不透明度アップの要求に応える薬品システム
(新聞印刷のカラー化、高速化への対応)
- ・嵩高紙、高級ティッシュ等差別化製品の品質確立に寄与する新規製紙用薬品
 - ・嵩高書籍用紙、高級ティッシュ・トイレットロール等の差別化製品の高性能化に貢献する薬品
- ・中国張家港工場を拠点とした中国市場でのシェア獲得
 - ・本年5月から予定通り生産を開始、中国製紙産業の品質要求に応える製紙用薬品を投入し、シェア獲得を図る。

(2) インキ用・記録材料用樹脂事業

- ・環境対応型のグラビア印刷インキ用樹脂・コート剤の拡販
・環境対応を促進する高性能水性樹脂を開発
- ・複写機・プリンターの世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発
・ケミカルトナー化、カラー化への対応、インクジェット顔料用樹脂の開発

(3) 新規事業

当社グループのコア技術である乳化・分散技術、重合技術を応用した第3の事業の立ち上げ

- ・フィルム用帯電防止剤、電子材料用感光性樹脂、自動車塗装用プライマーへの展開

(4) トータルコストダウンの継続

3. 当中間期の事業環境について

紙・板紙生産数量(国内)

単位:千トン

	2004年度		2005年度		2006年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	前年同期比
紙	9,348	9,480	9,421	9,563	9,477	100.6%
板紙	6,051	5,994	6,038	6,046	6,022	99.7%
合計	15,399	15,474	15,458	15,609	15,499	100.3%

日本製紙連合会 統計資料

各種印刷インキ生産数量(国内)

単位:トン

	2004年		2005年		2006年	
	上期	下期	上期	下期	上期	前年同期比
平板インキ	79,192	83,454	80,938	83,686	81,655	100.9%
樹脂凸版インキ	13,053	12,699	12,334	12,871	12,338	100.0%
グラビアインキ	67,730	67,086	64,170	68,406	65,291	101.7%
新聞インキ	27,430	32,079	28,332	30,034	29,621	104.5%
その他	34,104	31,066	32,849	32,819	32,449	98.8%
合計	221,509	226,384	218,623	227,816	221,354	101.2%

化学工業統計月報

紙・板紙、印刷インキとも生産数量はほぼ前期並み、両業界とも国内は成熟市場

4. 当中間期の連結業績

4 - 1 . 連結損益推移

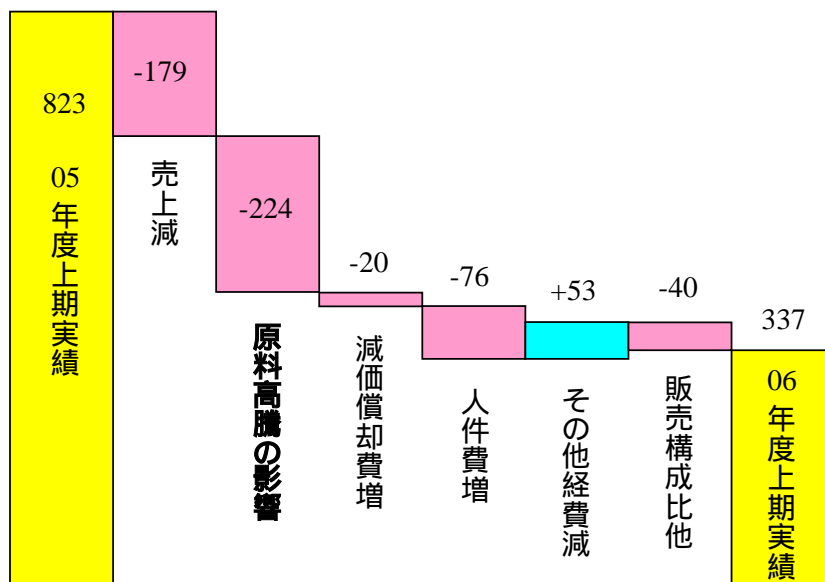
単位:百万円

	04年度中間期	05年度中間期	06年度中間期				
	実績	実績	実績	前年同期比	当初予想	差額	
売上高	10,568	11,685	11,694	0.1%	9	12,150	-456
営業利益	997	823	337	-59.1%	-486	460	-123
経常利益	1,001	889	354	-60.2%	-535	470	-116
対売上高比	9.5%	7.6%	3.0%		-4.6%	3.9%	-0.9%
当期純利益	687	634	211	-66.7%	-423	270	-59

1. 売上高: 製紙用薬品は前期同期比で数量ベースで減少、印刷インキ・記録材料用樹脂は微増
(8頁「セグメント別概況」)
2. 営業利益: 販売数量の減少および、原材料費のアップの影響で減益に (7頁「連結営業利益の増減要因」)
3. 当期純利益: 前年度は固定資産売却益が145百万円発生

4 - 2 . 連結営業利益の増減要因

05年度上期 06年度上期
 823 337百万円
 486百万円 -59.1%



1. 製紙用薬品事業の数量ベースでの売上減少(5.1%)による利益減 = 179百万円
2. 今年度上期にもさらなる原料価格のアップによって224百万円が減益要因に
3. 中国事業を中心とする人員増による人件費アップ = 76百万円

4 - 3 . セグメント別概況 (連結)

単位:百万円

	04年度中間期	05年度中間期	06年度中間期				
	実績	実績	実績	前年同期比	当初予想	差額	
売上数量(トン)							
製紙用薬品	77,590	84,869	80,544	-5.1%	-4,325	83,411	-2,867
印刷インキ・記録材料用樹脂	11,476	11,629	11,749	1.0%	120	11,498	251
合計	89,066	96,498	92,293	-4.4%	-4,205	94,909	-2,616
売上高							
製紙用薬品	7,437	8,369	8,306	-0.8%	-63	8,827	-521
印刷インキ・記録材料用樹脂	3,131	3,316	3,388	2.2%	72	3,323	65
合計	10,568	11,685	11,694	0.1%	9	12,150	-456
(内中国向け販売)	(64)	(141)	(193)		(52)	(96)	(97)
営業利益							
製紙用薬品	702	571	237	-58.5%	-334	417	-180
印刷インキ・記録材料用樹脂	295	252	100	-60.3%	-152	43	57
合計	997	823	337	-59.1%	-486	460	-123

売上高増減要因

製紙用薬品：(前年同期比 4,325トン減)

1. 表面サイズ剤の販売減 = 1,200トン
2. ロジン系サイズ剤の販売減 = 1,400トン
3. 国内原料生産中止に伴う合成サイズ剤からの撤退 = 800トン

印刷インキ・記録材料用樹脂：

オフセットインキ用樹脂の販売増、記録材料用樹脂は販売減

5. 財務諸表

5 - 1 . 貸借対照表 (連結)

単位:百万円

	前期末	今中間期末	増減		前期末	今中間期末	増減
流動資産	14,174	13,685	-489	流動負債	7,755	7,996	241
現金及び預金	1,234	488	-746	仕入債務	4,789	5,121	332
売上債権	8,313	9,088	775	短期借入金	525	870	345
棚卸資産	2,953	2,859	-94	未払金	816	531	-285
運用資産	600	-	-600	その他	1,625	1,470	-155
その他	1,074	1,247	173	固定負債	1,657	1,302	-355
固定資産	13,675	13,956	281	長期借入金	467	217	-250
有形固定資産	11,532	11,928	396	退職給付引当金他	1,190	990	-200
無形固定資産	275	249	-26	負債合計	9,412	9,299	-113
投資有価証券	1,309	1,200	-109	資本金	2,000	2,000	0
関係会社等出資金	0	-	0	資本剰余金	1,566	1,566	0
投資その他の資産	559	578	19	利益剰余金	14,380	14,375	-5
				有価証券評価差額金	491	402	-89
				資本合計	18,437	18,342	-95
資産合計	27,849	27,642	-207	負債・資本合計	27,849	27,642	-207
				株主資本比率	66.2%	66.4%	0.2%

1. 中国事業への投資により運用資産600百万円減、有利子負債は95百万円増

2. 株主資本比率は、66.4%に

5 - 2 . 損益計算書（連結）

単位:百万円

	05年度中間期	構成比	06年度中間期	構成比	増減
売上高	11,685	100.0%	11,694	100.0%	9
売上原価	8,579	73.4%	9,080	77.6%	501
売上総利益	3,106	26.6%	2,614	22.4%	-492
販売費・管理費	2,283	19.5%	2,276	19.5%	-5
営業利益	823	7.0%	337	2.9%	-486
営業外損益	66	0.6%	17	0.1%	-49
経常利益	889	7.6%	354	3.0%	-535
特別損益*	128	1.1%	-9	0.1%	-137
税引前利益	1,017	8.7%	345	2.9%	-672
法人税等	383	3.3%	133	1.1%	-249
当期純利益	634	5.4%	211	1.8%	-422

05年度中間期の主な特別損益

固定資産売却益 + 145百万円

主な経費項目（製造原価と販売費及び一般管理費との合計額）

単位:百万円

	05年度中間期	06年度中間期	差額
人件費合計額	2,236	2,312	76
減価償却費合計額	530	550	20
設備投資額	772	488	-284
研究開発費	791	784	-7
対売上高比率	6.8%	6.7%	

6.06 年度業績予想

6 - 1 . 年間業績予想 (連結)

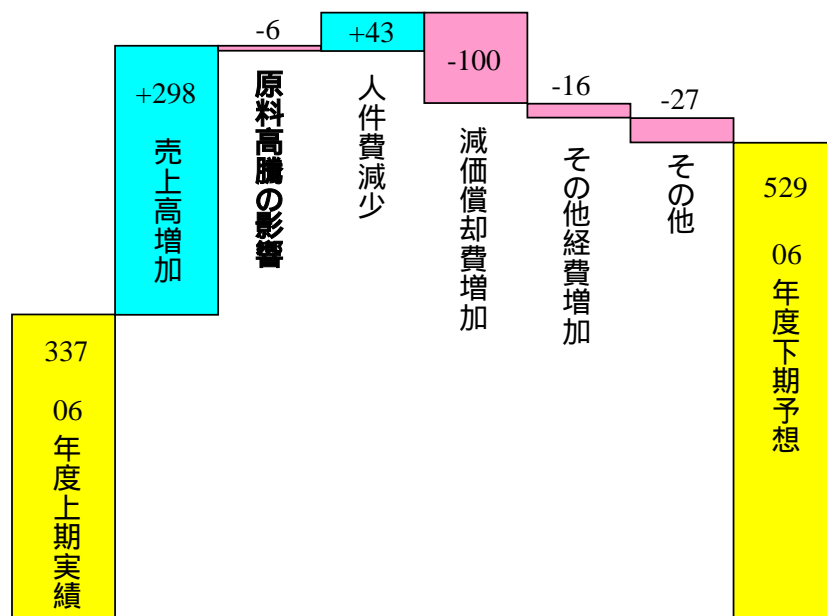
単位:百万円

	04年度	05年度	06年度				
	実績	実績	予想	前年同期比	当初予想	差額	
売上高	21,685	23,458	24,468	4.3%	1,010	25,426	-958
営業利益	1,876	1,352	866	-35.9%	-486	1,186	-320
経常利益	1,891	1,442	900	-37.6%	-542	1,208	-308
対売上高比	8.7%	6.1%	3.7%		-2.4%	4.8%	-1.1%
当期純利益	1,014	1,093	490	-55.2%	-603	690	-200
ROE	5.9%	6.1%	2.6%		-3.5%	3.7%	-1.1%
減価償却費	1,048	1,103	1,200		97	1,336	-136
EBITDA (営業利益 + 償却費)	2,924	2,455	2,066		-389	2,522	-456
設備投資額	1,439	1,451	2,278		827	2,830	-552
一株当たり配当(円)	10.0	10.0	10.0		0.0	10.0	0.0

製紙用薬品事業での販売の反転が焦眉の課題

6 - 2 . 連結予想営業利益の増減要因

06年度上期 06年度下期
 337 529百万円
 +192百万円 +57.0%



1. 紙薬品の販売増を中心とした売上増加による利益増を298百万円見込む
2. 中国事業を中心とした減価償却費の増 = 100百万円
3. 合理化効果により43百万円の人件費削減

6 - 3 . セグメント別業績予想 (連結)

単位:百万円

	04年度	05年度	06年度				
	実績	実績	予想	前年比	当初予想	差額	
売上数量(トン)							
製紙用薬品	156,368	168,989	166,434	-1.5%	-2,555	173,239	-6,805
印刷インキ・記録材料用樹脂	23,260	22,910	25,996	13.5%	3,086	23,509	2,487
合計	179,628	191,899	192,430	0.3%	531	196,748	-4,318
売上高							
製紙用薬品	15,197	16,934	17,406	2.8%	472	18,637	-1,231
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,488	6,524	7,062	8.2%	538	6,789	273
合計	21,685	23,458	24,468	4.3%	1,010	25,426	-958
(内中国向け販売)	(102)	(268)	(350)		(82)	(546)	(-196)
営業利益							
製紙用薬品	1,352	1,026	670	-34.7%	-356	1,090	-420
印刷インキ・記録材料用樹脂	524	326	196	-39.9%	-130	96	100
合計	1,876	1,352	866	-35.9%	-486	1,186	-320

売上高増減要因

製紙用薬品:(上期比794百万円増)

1. 板紙のアルカリ抄紙化等による乾燥紙力剤の拡販 = +410百万円
2. 新規湿潤紙力剤の拡販 = +110百万円
3. 嵩高書籍用紙、高級ティッシュ向け等差別化製品の拡販 = +70百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂:(上期比286百万円増)

オフセット印刷インキ用樹脂の拡販

7. 中国での事業展開について

中国の紙生産数量は、2005年で54百万トン(前年比26%増)と日本の31百万トンを大きく上回り、世界第2位であり(第1位は米国の83百万トン)、今後も高率の成長が予測される。

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっており、王子製紙始め日本の大手製紙会社も中国への進出を発表している。

当社の中国事業

1. 現地生産会社:

星光精細化工(張家港)有限公司

- ・2005年5月建設開始
- ・2006年5月生産開始

(1) 資本金: 1,450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 江蘇省張家港市
(張家港保税區江蘇揚子江国際化学工業園内)
面積: 約4万m²

(3) 生産品目: 製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他
生産能力: 約3万トン/年

2: 現地販売会社:

星悦精細化工商貿(上海)有限公司

- ・2006年3月設立

(1) 資本金: 450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 上海市

(3) 販売目標: 年商16億円(2008年)

